

2023年3月24日

CO2 排出量可視化のクラウドサービス「e-dash」を提供する e-dash 株式会社との業務提携について

この度、備北信用金庫（理事長 岡田 誠治）は、CO2 排出量可視化のクラウドサービス「e-dash」を提供する e-dash 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山崎冬馬、読み：イーダッシュ）と業務提携し、当金庫の取引先企業の脱炭素への取り組みをともに支援することを決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。



■ 本提携内容

2050 年のカーボンニュートラル達成に向けた動きが本格化している昨今、あらゆる企業にとって CO2 排出量の情報開示や削減が経営上の重要テーマのひとつとなっています。この流れは、業種や企業規模を問わない潮流となりつつあり、自社の排出量を把握し情報提出が求められる事例が中小企業含め増加傾向にあります。

当金庫では、地域中小企業の皆さまが脱炭素化の流れに取り残されることなく取り組み脱炭素化を進めていくにあたり、本提携を通じ、「e-dash」による脱炭素への取り組みの初めの一步として CO2 排出量の可視化を支援してまいります。また、その先の排出量の削減に向けた施策の実行支援も含めて中長期的にお客様と伴走することで、脱炭素社会の実現をともに目指していきます。

■ 「e-dash」とは

「e-dash」は、CO2 排出量削減への取り組みを総合的にサポートする三井物産発のサービスプラットフォームです。脱炭素の第一歩である CO2 排出量の可視化については、電気やガス等のエネルギーの請求書をアップロードするだけで、事業を通じた CO2 排出量（Scope 1・2）を自動で簡単に算出するなど、計算の手間を削減しながら正確なデータを蓄積できる仕組みを提供しています。サプライチェーン排出量（Scope 3）についても、ソフトウェア上で手軽に算出・可視化が可能です。

以上

本件に関するお問い合わせ先
備北信用金庫 業務推進部 TEL：0866-22-2192



当金庫では、SDGs への取り組みを強化しております。

【SDGs (Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標】
2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。
持続可能な開発のための17の目標と169のターゲットで構成。